

治警

一、東省鐵路冬防計劃

(奉天警務署長報)

張巡閱使ハ十一月六日東省鐵路督辦宗
小濤ヨリ左ノ電請ヲ接受セリト云フ
現下冬防期ニ在リ沿線保衛方法關係
重要ナルニヨリ茲ニ特ニ四條ヲ規定ニ指示
祇遵ヲ呈請ス

甲、吉黑ニ省共同調兵援助ヲナスコト
乙、各驛ニ見張所(步哨)ヲ増設ニ並往來
巡警

三五

旅行者ヲ検査スルコト

丙、附近各地ノ戸口清查ヲ實行スルコト

丁、盜匪逮捕ノ獎勵方法ヲ訂定スルコト

二、吉黑剿匪總司令部設置

(奉天警務署長報)

今因新ニ吉黑剿匪總司令ニ任命セルタル
巡閱使署總參謀長許蘭洲ハ十一月五日
夜哈爾濱ニ回ケ出發セルカ右ハ同地ニ吉黑剿
匪總司令部設置ノ為ニシテ開辦費トシテ

小洋一萬元ノ支出方ヲ張巡閱使ニ稟請シ
置キ之ヲ張使ハ之ヲ照准シ十一月六日代理
軍需課長劉少言ニ飭令シ発給セシメタリト云フ

以上

三、哈市支那側新聞紙取締令発行

(長春警務署長報)

十一月五日哈市賓歸来ノ某露人ガ語ル所ニ
依リハ全地支那側警察ニ於テハ十一月三日新
制定ニタル新聞紙取締令ヲ発布シ日本側ヲ
除外トシテ各新聞社ニ交付シタル由ナルガ其ノ内容
治警

三六

ハ各記事ニ執筆者ノ署名ヲ要スルコト及発行
前支那警察ノ検閲ヲ受クルコト等ヲ規定セラル
リ露國側各新聞社ニ此命令ヲ拒絶セリト云フ

三

四、支那官憲過激取締(奉天警務署長報)

最近張使ニ對シ看多駐在支那總領事沈
崇勳ヨリ電報セル内容ヲ張巡閱使署負某
ヨリ傳テニ露國過激取締令ハ今後北京、天津
上海、奉天、大連及青島ノ各地ニ散在シ暗ニ積
極的計策ノ下ニ陰謀煽動ヲ企圖セリト云フ

ニテ張使ハ東三省管内各官憲ニ通電シ今後
一層警告ヲ嚴シ之ヲ措置ヲ誤ラサル様内達
セシ趣ナリト

五、吉林地方ニ於ケル不逞鮮人ノ動靜

(吉林總領事報)

(一)十月十日樺甸縣官街ニ於テ支那官憲並ニ不逞
鮮人等會合シ豐務會ト稱スル秘密団体ヲ組織
シ左記事項ヲ決議シタリト云フ

(二)樺甸縣管内居住朝鮮人ニ對シ支那歸化ヲ
勸誘スルコト

治警

三七

(三)樺甸縣管内居住者ニシテ小作權契約満期
者ニ對シテハ續約セザルコト

但歸化鮮人ハ此限リニアラス

(四)歸化鮮人ハ支那官吏ニ任用セラルコト得

(五)樺甸縣管内居住鮮人ハ勿論他管内居住者

ト虽本會ニ入會セシモノ若クハ入會セレストスルモノハ

二人ニ付會費トシテ官帖二百吊文宛ヲ送收スル
コト

(六)以上ノ如クニシテ排日支那官憲等ハ不逞鮮人ヲ
利用シ管内ニ居住スル邦人ト連絡關係アル鮮人

境外ニ驅逐セムトシ種々ノ手段ヲ講シツ、アルヲ以テ
良民ハ其堵ニ安ニセズ安全地帯ニ移動セント準
備中ナリト云フ而シテ不逞鮮人等ハ此等排日支那官
憲ヲ利用シ日本官憲ノ干渉ヲ防禦セント劃策
シ右會費ノ如キ現ニ徵收中ナルヲ以テ將來ニ於テ
彼等ガ活躍ノ際右徵收ノ會費ヲ以テ運動
費ニ充當セント噂アリ而シテ彼等不逞鮮人ハ
吉林德和門外大韓赤十字社吉林支部長金
永喆方ヲ以テ秘密通信所ニ充テ居ルヤノ風評
アリ

治警

三八

四目下回地方ニ於ケル主ナル不逞鮮人ノ氏名ヲ引奉
スレバ左ノ如シ

金仁燦、朴成萬、洪炳鉉、鄭秉植、姜南五、
孟秀益、植茂林、韓東珠、吳炳哲、金成浩、
王延煥、崔元植、卡基元、車德一、李東興

(3)

六不逞團ノ採木公司事業ニ及ス影郷者

(安東警務署務長報)

長白縣下不逞團ノ支那官憲ニ於テ何等取締ヲ
為サヘルノミナラス及テ不逞者ヲ擁護シ彼等行

動ニ便宜ヲ與フル傾キアリ賊團ニ採リテハ最モ有
利ナル行動地帯トシテ各地ヨリ管下ニ集合ス
ル彼等ノ數ハ近時著シク増加シタルモノ、如ク附
近各道滿播居ノ不逞者ハ採木公司使用ノ鮮
人々夫等止モ有迫ニ為ニ公司事業上ニ悪
影響ヲ及ニ随テ作業請負者ニ於テモ之
等障害ノ危険率ヲ見込ムノ状態ニテ從
來ノ作業計畫ヨリ一層ノ困難ヲ感ニ居ルノ
状況ニアリ

採木公司(長白分局)支那側職員ニアリテハ公司
三九

事業上幾多ノ障害アルコトヲ以テ密ニ快トシ
居ルモノ、如ク(利權回收執ニ因ハシ)普通常識
ヲ以テハ判断シ得ス

以上

不逞團ノ通信連絡方法其他

(安東警務署長報)

ハ謀知スル處ニ依リハ不逞團人ハ北路司令部上海
役政府ノ命令スハ無松其他ニ散在セル不逞團
トノ連絡通報ノ迅速ヲ計ル為メ左ノ要領ニ
依リ通信方法ヲ實施シ居リト

各部落毎ニ通信連絡家屋ヲ定メ置キ
各箇所ニハ三四名ノ通信連絡員ヲ置キ
簡易ナルカ又ハ重要ナル事ハ口頭傳達
ノ方法ヲ執リ重要ナル命令通報又ハ支那官
兵ノ不逞鮮人取締討伐状況鮮内外於テ
軍資金ノ募集物資ノ全收鮮地侵入ノ状況
等ノ如キハ書面ニ依リ村送リノ方法ヲ以テ登
夜兼行交通連絡ヲ執リ居レリ

東坪德里ニハ現在鮮人家屋十八戸ニテ軍
備支團事務所ハ稍々廣大ナル鮮人家屋ヲ充

當ニ事務負ラセキ者三名詰メ切リ居レリ尚同
部落ニハ二十余名ノ不逞鮮人散宿シカリ而シテ
南方奥地一里ノ地莫ニハ多数ノ不逞鮮人集合
シ兵式教練ヲナシ居レリト

以上

八、不逞鮮人宣傳文（奉天總領署長報）

不逞鮮人ハ大興平ニテ興京縣ヲ襲ヒ保民會
員ヲ廢盡殺スル計画ニテ若シ如キ宣傳文ヲ各
所（路傍又ハ寺廟等々衆集合スル場所）ニ散布
シ且ツ其ノ暴偵時々興京市街ニ侵入スル形跡

アリト

宣傳文ハ半紙形ニ切リタル支那紙ニ毛筆ヲ以テ書ニタルモノナリ

仰示ス保民會ハ韓国ノ敵ス可カサル逆徒ナリ中華ノ近ヲク可カサル匪党ナリ是ノ此上ナキ奸輩ナリ故ニ其罪ヲ正シテ之ヲ勒戒セントス内外人須ク此ノ意ヲ知ルベシ

其ノ罪狀左ノ如シ

(一) 殺君辱父ノ賊ニ誦附シテ及ブ其ノ奴隸トナル
(二) 義士良民ヲ指作シテ妄リニ殺戮ヲ行フ

治警

四一

(三) 人ノ婦女ヲ奪ヒ人ノ家財ヲ盗シテ巧ニ其ノ迹ヲ掩フ

(四) 韓民ヲ誘導シテ中華ノ睦誼ヲ失ハレム

(五) 外日本ニ親シシ内滿洲ヲ窺フ

(六) 陰ニ日本ノ真力ニ藉リテ其ノ法令ヲ排セント欲ス

純元四千二百五十四年九月日

大韓陸立団總団所

(了)

九 大韓光復軍発行文書(安東警務署長報)

寛甸大韓光復軍ニ於テハ近末左記ノ如キ文書ヲ発行

シ支那人ヲシテ舞北各道信連絡機關部運搬セシ居リ
一信任状

譯文 信任状

右人ヲ以テ本營軍次金募集委員ニ任ス

大韓民國三年 月 日

大韓光復軍總管

宮長 吳東振

其他

一軍資金募集領收証

一軍人信西示

治警

以上

四二

一〇董知事ノ言動

(安東警務署署長報)

十月二十二日董長白縣知事ハ管下江岸巡視途ニ就キタルヲ深知シ彼ノ行動查察シタルニ三十道藩ニ於テ附近ノ移住韓人正長其他有志ヲ集メ左記意味ノ訓示ヲ考セリ

朝鮮ノ獨立ハ既定ノ事實ニシテ今回ノ太平洋會議ニ於テ英米其他ノ援助ノ下ニ成立ヲ承認セラル、事ハ確タル事實ナレハ此際輕率妄動シテ少數ノ有識者ニ對シ舞内地ノ日本官憲駐在所ヲ襲撃スルカ如キハ策ヲ得ルモノ非ス各自慎重ノ態度ヲ持シ、時機ヲ俟テ斷行ス可シ。

一、延吉敬言察廳ノ配置内証及日本居留民ノ感想
(南東軍參謀部致)

延吉敬言察廳ノ配置左ノ如シ
廳署名 所在 充實ノ程度

吉林延吉敬言察廳 局子街 充實セリ
(外乃至オキムノ令署ニ有シ充
實セリ(二令署ノ令署十五名内外)

延吉敬言察第一署 同 右 充實セリ

琿春敬言察第二署 琿春 充實セリ

和龍敬言察第三署 龍井 同 右 充實セリ

汪清敬言察第四署 百草溝 未ダ全ク配置セシメス

(二)延吉敬言察ノ由未及内証

(一)延吉敬言察ノ開設ハ北京内務部ノ命スル所シシテ

治敬言

中三

其ノ目的ハ延吉道ニ於ケル警察能力ヲ振興シテ
内治外交ヲ刷新シ大イニ實績ヲ收メ以テ日本
警察撤退ノ口實ヲ得ルニアリテ去ル八月末局
開廳後三個月ニシテ其ノ成果顯著ラサルニ於テ
ハ之ヲ撤退スヘキ内証ナリト

廳長聯成ハ敬言察事務研究ノ為メ嘗テ日
本ニ留學セシ手腕ハナル又部下高級敬言察員
(全部聯成ノ近親又張鎮守使ノ系統者)ハ敬言察
事務ニ關スル知識強クナリ却テ巡官以下ハ北京
警察學校ヲ卒業シ本事務ニ關シ相當知識ヲ

有スルヲ以テ厭ニ於ケル施設ニ對シ大イニ不滿ヲ
有ス加之間島ノ諸物價ハ北京ニ比シ一般ニ高率
ナル爲メ俸給ハ幾分増額サレ居ルモ不如意ナル
ヲ以テ北京ニ歸還ヲ希望スル者多ク遂ニ救日
前巡警一同北京歸還ヲ願ヒ出ツルニ至リシモ
許可セシラス茲ニ於テ巡警一同ハ急業ヲ行ヒ
夜間ノ歩哨ハ隨意宿舍ニ歸還シテ睡眠シ爲
ニ局子街ニ於ケル夜間警備ハ大缺陷ヲ来セリ
(2) 陶道尹及張鎮守使ノ警察ニ對スル意見ノ相
違 巡警警察署ハ官制上陶道尹ノ隸下ニ屬

治警

四四

スルニ拘ラス聯廳長ハ事々張鎮守使ノ命ヲ受
ケ又警察高等幹部ニハ陸軍將校ノ近親者
多クモヨリ陶道尹ハ之ガ駐留ヲ喜バズ省長ニ意
見ヲ具申シ該警察署ノ撤退方運動中ナリ、其ノ
理由トスル所ハ開廳後一ヶ月ヲ経ルモ何等見ルハ
キ點ナク其ノ成績ハ却テ以前ノ警察署ニ劣ルヲ
以テナリト 鎮守使ハ飽クマテ聯廳長ヲ庇護シ
該署警察ハ開局以來内治殊ニ外交ニ於テ見ルハ
モアリトシ之ヲ撤退ニ反對シツ、アリ
(三) 日本居留民ノ警察署ニ對スル感想

從來ノ警察ハ排日的ニシテ日本居留民ニ對シ
事々壓迫ヲ加ヘ西國間ニ事端ヲ醸セシコト少カラ
カリシモ新警察ハ表面親日的ニシテ如上ノ事故
ナク又巡警ハ概シテ相當ノ學オアルヲ以テ可ナリト
稱シ居レリ

一二 李恭和歸來

(山東軍參謀部報)

本年六月二十三日安東縣ヨリ上海ニ逃走シタル
李恭和ハ十月二十四日汽船裕生丸ニ乘リ安東ニ
歸來シタルヲ以テ取調ヘタルニ其ノ狀況左ノ如シ
(一) 臨時政府ハ上海佛祖界新民里一四號支那人
治警

四五

家屋一棟ヲ月七十円ニテ借受ケ其中ニ各部
局ヲ設ケ總長次長局長等二十八名毎日登立廳
シテ事務ヲ執リ居レリ然ルニ財政困難ノ為メ維
持シ難キノミナラス家賃三ヶ月分ノ米拂ノ為
メ督促ヲ受ケツヽアリ

(二) 安昌浩、金奎植、呂運亨等ハ現政府ヲ願衆
シ新ニ政府ヲ組織セント画策中

(三) 朴容萬ハ上海政府ヲ打破シ新ニ北京ニ政府ヲ
組織セントシ居レリ、上海ト北京ト相大猿視シ
凡波ヲ來シ居レリ

(4) 上海ニ於テ費用スル財政ハ朝鮮内ニ於ケル耶穌
敎会等ヨリ若干ノ金子ヲ送り居リ又債券ヲ賣
捌キテ財政ヲ作り居レリ

(5) 上海ヨリ威海衛ニ交通局ヲ置キ又交通局参事
高峻沢書記安慶洙尹琦燮等出張シ文
通事務ヲ執リ居レリ然ルニ上海ヨリ威海衛ニ威
海衛ヨリ黃海道延日郡鎮南浦平安北道博
川郡田津及安東縣ニ支那船ヲ以テ往復シツ
ハアリ

(6) 太平洋會議代表者トシテ李承晩鄭翰景徐
滋敬

載壽一三名渡米セリ

(7) 興士團長安昌浩ハ太平洋會議ニ對スル運動ヲ
大々的ニナスヘク朝鮮内地其他ニ團員ヲ派遣シ
請願書ニ署名捺印及資金募集ヲイシツ、アリ
(8) 京城ヨリ耶穌長老李仁誠ナル者金三牛田及請
願書持参シ尚黃海道ニハ崔日ナル者宣傳ヲ女
員トシテ出張セリ

(9) 新韓青年團金福亨興士團張某其他敎名
ハ太平洋會議ニ對スル運動ヲ為メ鮮内ニ侵入セリ
(10) 尹琦燮林乃萬外敎名ハ威海衛ヲ經テ爆彈

二十八回拳銃三十挺ヲ運動シ黃海道沿岸ニ向
ケテ發シタリ

(11) 朴乃萬、李甲秀等ハ總督府ニ爆彈ヲ投擲シ未
ダ京城府内ニ潜伏シ居レリト

(12) 李ヒ圭ハ上海出發京城ニ侵入スル計劃アリ

(13) 目下ハ何レモ威海衛ヲ至テ黃海道迄白郡沿岸

ヲ南、鎮南浦ヨリ侵入スルヲ常トス

(14) 太平洋會議前後ニ於テ爆彈投下不穩文書

配布、騷擾惹起、資金募集等、爲メ上海、

北京其他ヨリ多收入解スル計劃ヲナセリ

沿海

四七

(15) 上海四庫里ニ於テ軍務次長都仁權ナル者監督

ノ下ニ爆彈ヲ製造シ居レリ、原料ハ露西亞人ヨリ

購入シ居レリ

(16) 申奎植ハ廣東政府孫文ニ面会シ爆彈銃器

財政ヲ求メ尚太平洋會議ニ朝鮮支那兩國共

同出席セント要求シ居レリト

一三、平安北道督辦府ヲ五回會議開催(安東署長親)

探知スル所ニヨバ平安北道督辦府ハ十月十二日

才五回會議ヲ寬甸縣瀋河ニ於テ開催燭立

運動ニ天スル諸般事項其他ニ就キ左記決議

ヲナセリト當時ノ参考會者ハ督辦趙炳準外各
郡監書記共二十名ナリシトイフ

一先ニ假政府ヨリ發布セラル民籍案ハ可及的速
ニ穩密ノ方法ヲ以テ解内外共完成スルコト

一軍資金ヲ募集スルト同時ニ日解官公吏暗殺ヲ
速力ニ斷行スル事但此期間ハ別ニ定メサル依リ
適宜ノ時機ヲ選ム事

一我決議事項ヲ實行スル爲各自責任ヲ負フ事
一曰解官公吏暗殺ノ目的ヲ達成スル爲メ青年者
五十名以上ヲ本道へ派遣スルコト

治警

四八

一本會議ノ諸般事項ハ派遣人ニ委任セシム

一敵ハ解人官吏ヲ獨立軍ニ假裝セシメ村落ニ
横行セシムルコトアリ相當注意射殺スルコト

一四太平洋會議ニ對スル下層支那人間ノ流言(本溪支署長趙
本溪湖奥地農民間ノ流言ヲ聞知スルニ、今回紐
育ニ於テ開催ノ太平洋會議ハ滿蒙ニ於ケル
我日本ノ勢力カラ驅逐スルモ一ニシテ會議終了ト共
ニ日本官憲ノ威力ハ失墜スルニ至ラント猶ホ移住
解人ニ對シテハ此機會ニ於テ獨立ヲ企カランム
ルモノナリト語り暗ニ排日的气氛ヲ助長スルカ如キ

言動アルモ在留鮮人向一部ノ者ヲ除ク外是ヲ
非難語ヲ信スルカ如キモノナシ、一部排日派支那人
ノ宣傳ニヨリ斯カル山岡僻地ニ於ケル下層支那人
ニ至ルマデ流言蜚語ヲナスニ至レルニアラスヤト思考サル

一五、米國宣教師ノ行動

(朝鮮總督府、奉天省長報)

(一) 本年八月十七日ヨリ一週間ニ亘リ在支那興業米人宣
教師トマス・クヰ(鞠祐致ト稱ス)主催ノ下ニ西
間島一帯ニ於ケル耶蘇教老会ヲ開催セシカ其ノ
最終日タル八月二十日夜、白夢良、崔恒麟、
崔景信、白義天、李枝殷等ノ鮮人教師助事
治警

四九

等中堅トナリ左記ノ如キ諷刺劇ヲ行ハ之ニ使用
シタル洋杖時計、烟竹ヲ前記鞠祐致ニ提供セリ、
(一) ステッキハ倭奴ヲ撲殺スヘキモノシテ其ノ牛
先タル保民會員ヲ屠ラサルヘカラスト爲シ之ヲ振
翳シテ各種ノ所作ヲサシタリト

(2) 時計ハ時辰ヲ報スルモノナルニヨリ朝鮮獨立
ノ時機ト鮮人等ノ行動ヲ暗示セラレ度シテ各種ノ註
釋ヲ加ヘタリト

(3) 烟竹ハ在米鮮人ノ因習ヲ脱シ覚醒セヨトノ
暗示ニシテ既往将来ヲ諷シ覚醒ノ必要ヲ説キ更

ニ諸費用ヲ節シテ之ヲ独立軍資金トシテ提供セ
サルヘカラスト結ビタリト

(二)興業居住米國宣教師トマス・クノ経営係
ル教会堂構内ニ八目下約二十名ノ朝鮮人居住シ
且ソ朝鮮人ノ出入頻繁ニシテ巡警署ノ監視ヲ
モ峻拒シ何事カ則策中ナルヲ疑アリ支那官
憲ニ於テハ何等設施スルコトヲ等閑ニ附シ居レ
リ。

一六、不逞鮮人韓僑公會再興

(朝鮮總督府局報)

支那植民地地方ニハ従来韓僑公會ナルモノ設
置セ

アリ又強ト撲滅ニ般シ居タルカ本年十月初旬ヨ
リ遼カニ活動ヲ始メ同縣馬圈子(植民地南方五里余)
小南金礦房溝ニ事務所ヲ設ケ地方部長
トシテ原籍平安北道義州郡人徐丙吉(三十七年)
在者之ヲ主宰シ補助金ト称シテ一等二十四、二
等十四以上、三等五以上ヲ居住鮮人各戸ヨ
リ強徴シマシト云フ其他同縣大荒溝寛甸
縣古河口地方ニモ設立シ上海假政府ト連絡ヲ係シ
マアルモノ如シ而シテ總會長トシテハ慶尚北道人
孫秉憲ナルモノナリト云フ

一七、朝鮮ト勞農及孫文間ニ密約（醒時報）

朝鮮人民、独立運動ハ依然激烈ナルモアリ、目下代表者ヲ英佛伊各國ニ派遣シテ日本政府カ如何ニ解民ヲ虐待シテイルカノ實狀ヲ宣傳セシメツ、アリ、又代表團ヲ米國ニ送リテ独立請願ヲサントスル計劃ヲ進メツ、アルガ、此ノ外知多社會黨ト連絡アリ、尙大韓假政府ハ改進黨ノ勞農政府及広東、孫文ト向ニ密約ヲ締結シ居レリ、茲ニ該密約ノ内容ヲ示セハ左ノ如シ

(一) 大韓、勞農ニ密約

五一

- (一) 勞農政府ハ臨時政府ニ遷徙化費二千フルヲ資助ス
 - (二) 軍器彈藥一切ハ勞農政府ヨリ貸與ス
 - (三) 韓國駐立軍ハ赤色軍ト聯合シテ西伯利一帯ノ日本軍ヲ驅逐シ同時ニ假政府ハ独立ヲ宣言ス
 - (四) 露韓双方ヨリ日本ノ過激主義者ト聯絡シ其帝制ヲ廢棄ス
- 大韓、孫文密約

- (一) 假政府ノ爲ニ經費二百萬元ヲ資助ス
 - (二) 広東ニ一機關部ヲ設クルコトヲ承認ス
 - (三) 朝鮮急死スルハ假政府ヲ広東ニ移設スルコトヲ承認ス
- 尙ハニヨリ既ニ上海假政府ハ十萬元支テ、送金アリト云フ。

一八旬間不逞鮮人ノ状況

(安東警察署長 鄭泰一 報告)

縣名	場所	不逞鮮人ノ数	兇器	被害人員	金品	摘
寬甸	白茅地奥 江岸ヨリ約 四里ノ地奥	独立團員 李義坤 以下一三				四平街ヨリ永田附近ヲ徘徊シ一戸ニ 付一四五丁ノ朝鮮人駐在シテ定住シ居ル中 近ク鮮内地ニ侵入セント計畫シ居リ
全	九連城	人員不明				全地支那宿屋楊某方ニ一週一回不逞 者ハ往來シ居ルモ全地ニ警ハ 何等之ヲ取締ラナス
全						全縣下ニ於ケル不逞者ノ猖獗ハ先 ハ吉林城内宿屋兼穀物商天合棧 事朝鮮人崔萬榮方ナリト
全	三岔子	人員不明				夜間日本官憲ハ搜查ニ来レルヲ感 知シ警察ヨリ以テ逃走スルヲ以テ之 ニ砲射一石ヲ擲ス
長白	上道溝外 竹別里	軍備支團長 方世吉				道路修繕人支賃五百円ヲ該團軍 資金ニ投ス
全	上道溝	大樞團員 二				骨迫ノ上軍資金ナリトテ強奪

治警
カニ

縣名	場所	不逞鮮人ノ数	兇器	被害人員	金品	摘
長白	古山城	三				全地ニ赴キタル鮮人ニ對シ暴行 ヲ加フ
全	十二道溝	軍備團員 金致俊 外一				全地移住鮮人ニ對シ軍資金トシテ 各戸ヨリ金二四票ニテ究メ提供ヲ命 ジ流セサルモノハ軍備團員ニ強制 的加入ヲサシメツマアリ
全	八道溝	七	銃 支那軍憲 服			全地ニ分宿滞在シ決死隊十名ヲ ニ班ニ編成シ鮮内地ニ勤務ヲ偵察シ 太平洋會議ヲ期シ百名ノ團員ヲ鮮 地ニ侵入セシムル計畫中ナリ
全	八道溝 加在水	約 一〇〇				在任支那人ト物資取引上ヨリ關係 シ支那人ヲ殴打負傷セシメケルカ ソノ中ニ十名ハ支那官憲ニ自首 セシタリ和解成立セリ
全		光復團長 金錫泰 以下四				甲山郡公廳内外六ヶ所ニ全支團ノ通信 箇所ヲ設ケ鮮内地状況ヲ知得ニ努ムル ハ共ニ軍資金ノ募集ヲナシツマ

要

要

全	全	全	全	全	輯安	縣名
八宝溝 小梨樹溝 大梨樹溝	八宝溝 北方山林中	太平溝 小西溝	太平溝	致和堡 楊木洞	楊木溝 楊木溝 楊木溝	縣名 輯安
西路軍駐在所 趙成五外一四 李明善 外一七	自稱向路軍 政府隊長 禁衛兵以下 三〇	六	二	首領不明 大	本團長 以下 五〇	不逞 教
	支那官吏 服裝		拳銃	長 支那官吏 服裝	拳銃 短銃 短銃	服裝 武器
銀 一七〇元		一三〇	一〇〇元			被害 人員 金品
全地方ニ於テ軍資金ヲ計二千 七百五十元收メ今尚全地附近ヲ積貯 シツアルタノ際難ズルモノ多ク教 令	全地区長及頭長等ヲ脅迫シテ 集金シテリタル金四ヲ強奪シ上 立去レリ	夜間全地附近住民ヲ脅迫シ軍資 金募集中	脅迫シ上強奪	軍資金募集ニ来リタルモノ金ナ 爲人質トシテ五名ヲ拉去ス	全地方ニ於テ七名乃至十名一團トナリ テ往來シ專ラ居住朝鮮人ヨリ軍資金 奪取ニ奔走シ上月二十日前後數隊 ニ分レ鮮内地ニ侵入セント画策中	要

全	全	全	全
全	十九道溝	長白市街	二十道溝
軍備部隊長 韓明 以下五〇 光復團員 一〇	興業部隊 長 李在豊 以下一〇 露國式長銃	金墓斗	三
	半教 鮮服 半銃 他 露國式長銃		鮮 労働 休服
		五〇	
甲山郡普恵面佳林里警官出張 所及保田官憲ヲ襲撃シテ定テ二十 道溝區長金斗ヲ招致襲撃ノ際 便宜提供方下命セリト	全地ニテ毎日各個教練及射撃 演習ヲ行ヒ鮮地侵入ヲ計画シ 多數ノ密偵ヲ鮮内地ニ派シ連絡 ヲトリ居レリ	甲山郡同仁面金斗里ニ至リ軍資 金約五百円ヲ提供セシノ軍中區 某品等若干購入シテ三三道溝方 面ニ出勤セル形跡アリト	全地居住朝鮮人金某方ニ来リ株木公司 ノ卒業其他守備隊憲兵警官ノ 員數等詰問セルモノ全人知ラヌト 答ヘタルニ日本官憲ノ密偵ナリトテ 數回殴打ノ上不日再來スルヲ以テ 調査シ置クヘシ若シ肯セサル 時ハ射殺スト威嚇ノ上立去レリ

全	桓仁	全	臨江	臨江	臨江
芳花草完	二戸末	七道溝 中村	五道溝	縣界紅崖	六道溝
人員 不	七〇	大極回員 金平海外	趙伯倫以下 兵	大極回員 金平海外	大極回員 金平海外
	長銃 拳銃 赤色 軍服 帽		露國式 兵銃		
全地方移住朝鮮人ニ對シ、軍資金ナリトテ其 資金ニ充テ一等ヨリ九等ニ区分シ、等 一四五ト奉九等七十ヲ、割合ヲ以テ目下 坐収中 不逞朝鮮人、混入セル馬賊約五百名 全地ニ集合糧食坐收ニ奔走シ、鮮 内地ニ侵入セント豪語シ、アリ 長白縣十二道溝方面ヨリ、鮮地侵入 目的ヲ以テ出發セリト 全地朝鮮人有カ者同、訪問シ、排日思 想ノ宣傳並ニ團員ノ募集ニ奔走 シ、アリ 全地方朝鮮人ニ對シ、一戸小洋十五元乃至 十元ヲ強要シ、近々大津シテ東京前、侵 入シ、保民會員ヲ廢殺セ、ハク計畫 中ナリト 太平洋會議ニ朝鮮獨立運動公表シテ耶 蘇敵領袖袖許ヲ出席セリ、ハク協議決定レ 目下信使各一人ニツキ、金一四五十ヲ宛テ 坐収、許ハ不日出發ノ事ナリ					

縣名	場所	不逞朝鮮人	先着	被害	金	摘要
興京	四道溝	四〇	拳銃			畫圖ハ労働者、風ヲ夜間ハ所定場所 所集令シ、居住朝鮮人ニ對シ、金高ヲ強要シ ツ、何事ヲ画策中、全地方朝鮮人ハ人 心怖ク、何トモ避難ノ準備中ナリト
全	平地山	以下 五				全地居住朝鮮人一戸ニ付小洋二元乃至五 元強要シ、或ハ調達ヲ命ジ、近々東京ヲ 發シ、日本官憲及保民會役員ヲ廢 殺セント豪語シ、居レリト
撫松	西大峯	軍備同 六	拳銃			太平洋會議ヲ期シ、鮮内地ハ武力侵入 ヲナスヘク多敷ノ兵員ヲ募集中 太平洋會議前、鮮内地ニ輸入ス、(一)爆彈 二百六十個、全地至急受領ニ來ル、(二)北路 司令部ヨリ、特使來リ、十月十九日軍備同 ニ於テ、強者六名ヲ選抜シ、各自拳銃 ヲ携帶セシメ、各地ヘ派遣シ、アリト
延吉	茶條溝	軍政署幹部 以下 七				全地金京、煙草ニ來リ、金高ヲ強請シ、排日軍 參加ス、ハレト稱シ、尚附近奇兵ニ同志ヲ 勧誘スルニ、アリ、ハレト稱シ、ハレト稱シ、ハレト

敦化東溝	安圖	通化九道溝		
九國兵團 以下一五	義勇隊司令 林東極	一三	上海政府 九軍政府 本報館	上海政府 中使館 中使館
			支那服 斧銃	
時々部下ヲ附近ニ派シテ軍資金ヲ募 集ヲナレリアリト	敦化縣方面ヨリ延吉縣境ヲ越テ米 軍資金及支那地方財物ヲ掠奪シテ 稱シテ支那方面ニ向ヘリ	今地ニ現ハレ三自來石ノ後續隊アル日 漢語ニ樹皮溝方面ニ立去レリ	十月十四日同島ヨリ鮮内ニ侵入シ 華報一個ヲ掠奪シ居リシヲ日方重ク爆 彈ト思料セラル又兩人共ニ支那語 ニ巧ミシテ支那人ト変ラヌト	十月三十一日鴨綠江鐵橋南岸ニ於テ 逮捕セラル

其他

(一) 上海共同租界望平街二六一號ニ於テ廣東人富豪林澤豐ナル者

治警

五五

四民報ト稱スル漢字新聞ヲ發刊シタルヲ同人ハ不逞鮮人朴殷植

ト親交アリ兩者相携ヘテ排日宣傳ニ努メツアリト云フ

尚朴殷植朴始昌朴景山朴泰河(以上平安北道)黃勳

(黃海道)金文世李英雲等四民報社内ニ起臥シアリテ同

新聞ハ宛然不逞鮮人ノ經營ニナルノ觀アリ

(二) 元軍政署司令官金佐鎮ハ目下密山縣ニ根據ヲ有シ羅仲

照等ト協議、鮮内地襲撃ヲ画策中ニシテ部下朴寧

源及金奎植ニ部下ヲ引率セシメ安圖縣ニ先發セシメ

タリ、其他金佐鎮麾下大隊長金漢國軍人三十名ヲ率ヒ

延吉縣崇礼御蜂密礮子附近ニ於テ軍資金募集集中ナリト

(三)

恩潮

一支那南方政府ト過激派トノ關係及庫倫方面ノ状況

(關東憲兵隊報)

十月二十九日吉林督軍ヨリ吉長鎮守使宛支那南方政府ハ北伐軍ヲ編成シ多數謀者ヲ南滿ニ潛入セシメテ宗社黨ト連繫活躍シニテ勞農政府ハ南方政府ト密約ニ基キ東三省厘率制ノ目的ヲ多數軍隊ヲ外蒙古ニ侵入擾亂セシムル形跡アリトノ情報アリシカ十月三十一日滿洲里鐵路司令官鬼福麟ヨリ庫倫方面ノ状況ニ付吉長

恩潮

五六

鎮守使ニ左ノ情報アリタリ

庫倫ニ駐セスル知事政府軍ハ目下東行シツアル勞農派遣軍ト密ニ交代シツカリテ同地方一帯ハ漸次赤化旗ヲ軒頭ニ掲クルモノ日々増加シアリ尚ホ同地ニ於ケル司法行政ハ露蒙人之ヲ當テリ支那人等獨力ヲ認メラレス

孫文ハ昨今多數ノ交張作霖宣傳負テ庫倫恰克圖ニ潛入セシメカリテ盛ニ之ヲ宣傳ヲ為シ同地居住民ヲ益々及張作霖熱ヲ蒿メ一方勞農並ニ知事政府軍ト圓滿ナル連絡ヲ保持シ居

ル等日時ノ遷延ト共ニ支那ノ愈々不利ノ状況ニ陥
リツマアリ
孫文ヨリ派遣セル宣傳員ハ何レモ東支線通過
同地方ニ伺ヒカル形跡アリテ漸次其數増加シツ
リ近々同地方ノ支那労働者救済ヲ標榜シテ華
工會ヲ組織シ其裏面ニ於テ労働政府ヨリ補助
ヲ得テ過激主義宣傳ノ一大機關トシメトス
ルニアリ

ニ共產黨負現況

(北滿洲紙)

思 潮

五七

近着労働農紙グラウダ所載ニ依レバウタナイニベ
ヲ除サル歐露三十一縣ノ事實上政權ヲ行使シ
ツツアル共産黨員全數一五八四八〇人内五九、六
二六即チ三八パーセントハモスコ「ベト」ロード兩縣
内ニ住シ其他ノ縣ニハ一縣平均三五〇〇即チ全數九
八、八五四ニテ最モ密集シ居ルハ都市ナルコト無論ナ
リ労働力ノ程度ハ讀書ニ得ガル者三八パーセント初
等教育アル者八七パーセント、中等乃至高等教育
アルモノ一〇パーセントノ割合ニテ即チ初等教育アルモ
ノ党ノ中堅タルノ形ナリ次ニ職業別ニスレハ筋肉

労働者四五パーセント農民一七パーセント商工業者
五パーセントトナリ次ニ古多即チ十月革命以來ノ
党員ハニニパーセント其後入党者八九パーセント
中六七パーセントハ最近ニケ年ニ點セルモノナリ上
述ノ如ク歐米共産党員ハ何レモ教育程度
低ク爲ニ一切ノ命令ハ其ノ首領ノ下ス所ヲ絶對的
ニ遵守スル事トナシ居ルモノナリ

以上

見
漸

五
八

REEL No. 1-0477

0232

雜報

一朝鮮總督府主催施政宣傳活動写真會

(安東警務署長報)

總督府事務官李範益氏ハ十一月二日、兩日
午正六時ヨリ安東劇場ニ於テ居住鮮人爲
朝鮮事情並ニ内地文化發達ノ状況ヲ活動
写真影写セルカ當日ハ安東鮮人會長李
泰鉉以下各幹事ハ写真會、爲多大ノ幹旋
盡力アリ第一日ハ入場者鮮人約一千名内地人約
一百名第二日ハ鮮人約七百名内地人約四百ニシテ
雜報

五九ノ

入場者ハ頗ル内地文化ノ發達セルヲ嘆稱シ鮮
人ノ感想ヲ強カラシメ好成績ヲ収メ得タル模様
ナリ映画ノ中間ニ於ケル李事務官ノ演説概要
並一般鮮人觀覽者ノ評語尤ノ如シ

一李事務官ノ演説

朝鮮併合後文化ノ發達著シク之レ併合賜
ナリ今ヤ總督府ハ一視同仁内鮮人ノ區別ナク
人民又共力事業ニ盡悴ス滿州ノ野ニ在ル諸君
モ其意ヲ体シ業務ニ從フヘシ尙ホ鮮内ニハ教
育ニカヲ注キ從來ハ内鮮人別々ノ教育ヲナシ

タリニ又明年度ヨリハ同一教育ヲ施行スル事
ニ決定セリ故ニ諸君又大日本帝國臣民トシテ
教育産業ノ發達ヲ圖リ一日又早ク内地人ト同
様ノ智識ヲ求メサルヘカラス

一般朝鮮人ノ評語

朝鮮ノ發達セル有様内地ノ文化殊ニ市街整
頓山水風光京阪ノ市街美ト諸工場ノ壯大軍
艦飛行機等ノ光景ニハ喫驚セサルヲ得ス

④今回ノ活動寫真ハ太平洋會議ニ先ケ騷擾
セントスル不心得者ニ此如キ鮮地發達ノ状況
雜報

六〇二

ヲ示シハ服セシムルナラン

③朝鮮ノ状況ハ確カニ昔日ノ面影ヲ認メ難ク發達
セリ之レ全ク日本ノ御蔭ナリト云々

二庫倫ノ商況

(安東警務署長報)

首題ニ関シ安東商務總會ハ十一月一日奉天
商務總會ヨリ左ノ通信ニ接シタリ

在庫倫華商代表ヨリ安東商務會ニ宛テタ
ル書信ニ曰ク現在庫倫ニ居住スル華商ノ數ハ
八千人ニシテ紅党(勞農派)約三千名居住シ居
ル各商家ハ一般ノ財政困難ナルカ爲物資ノ

供給意、如クナラズ殊ニ紅党ハ困窮ニ居レリ
而シテ之ヲ紅党ハ勞農政府ノ一派ニシテ目下庫
倫ハ百物欠乏シ農商ノ困難實ニ名状シ難キ
モノアリ過般或人ハ七百頭ノ駱駝ヲ以テ皮革ヲ
輸出シ帰途更ニ諸物債ヲ輸入シタルニ尚ホ
不足シテ到底需用ヲ充スコト能ハス慎昌洋
行ノ如キハ三百頭ノ駱駝ヲ以テ洋雜貨ヲ輸入
シタルニ忽ケ賣リ盡シテ百余万元ノ漁利ヲ獲
タルカ當時卷菸一箱ハ一皮ノ襪皮ト交換セラレ
タリ厚利斯ノ如キカ故ニ内地商民ハ續ク物債
雜報

六ノ

ヲ輸入シ以テ華商ノ勢力ヲ恢復セラレニスト
希望ノ至リナリ

三露國莫斯科附近ノ近況 (關東憲兵隊報)

支那避難民代表 翟永堂

以下三百十名(内露國婦人十六名)

右ハ莫斯科附近ニ於テ勞働(主トシテ農)ニ從事
シ居リシハ革命後生活難、爲屢々勞農政府
ニ飯國ヲ申出ツルヲ許可セラレサリシカ支那代表
陶某ノ交渉ニ依リ今回許可セラレ大正十年九
月三日莫斯科出發十月二十九日長春通過御

里陝西省ニ向ヒタリ莫斯科附近状況ニ付翌永
堂カ憲兵ニ語リタル概要ヲ如シ

治安状況

莫斯科ハリンネルカ統督トロスカカ副統督ト
ニテ軍隊及警察官ヲ指揮シ治安ヲ維持シテ
リテ市街各所ニ軍隊及警察官ヲ配置シ又
数百台ノ飛行機ヲ有シ日々上空ヲ飛翔シテ警
戒シアリカ一疑ハシキ者ヲ発見セハ直ニ逮捕スル
カ又ハ射殺スルヲ常トス

住民ハ何処ニ於テ労働ニ従事シアリトノ証明書
ヲ所持ス

六テ

万一該証明書ヲ所持セサル時ハ逮捕又ハ射殺
セラルヲ以テ日夜肌身ヲ離スコトヲ得ス
糧食ノ配給等ニ付万一喧騒センカ機関銃ニテ
全部射殺セラルヲ以テ之ヲ恐レ騒擾スルカ如
キコト稀ナリ要スルニ全然武力ヲ以テ治安ヲ維持
セラレアリ

給與ノ状況

店舗ハ一切閉シアリテ衣食住全部政府ヨリ
供給ス

軍隊及官公衙ニ奉職スル者ハ男女共十歳以上
一日黒パン二斤スープ約一合五勺十歳以下ハ其
半量ヲ給ス將校下士卒共同一待遇ナリ
一般住民ハ食糧券ニ依リ十才以上ハ一日黒パン
一斤半スープ一合余十歳以下ハ其半量ヲ支給
セラル

食糧券ハ労働セサル者ニハ一切支給セラレズ之
カ為メ餓死スル者日々數百名ニ達ス死屍ハ一定
ノ係官アリテ一地ニ集メ埋葬シツ、アリ

往々窮民カ糧食供給所ニ給與廠ヲ襲フコト
雜報

六三八

アルヲ以テ精銳ナル武器ヲ以テ軍隊ノ為メ射殺
セラル、ヲ例トス之等ノ死屍ハ概ス大ノ食料トナリ
ツ、アリ之カ為メ徒歩者カ大ノ危害ニ遭フコト甚
カラス故ニ一般住民ハ過激派ヨリ大ニ危険視ニ居リ
給與廠ハ市街各所ニ設置セラレ毎日午前八時
ヨリ食糧券ト引換ニ支給ス而シテ過激派係
乃テ政府員軍隊等ニ支給スルモノト一般人民ニ支
給スルモノト場所ヲ異ニシ一般人民ニ支給スル糧
食ハ極メテ粗糲ニシテスープノ如キ曾テ肉片ヲ見
タルコトナシ住家ハ各人ニ居室ヲ割當ラレアリ

衣服ハ着用ニ堪ヘサルニ到リ其旨労働先ノ首
領ニ申出ル時ハ衣服券ヲ支給セラレ該券ヲ
以テ衣服廠ヨリ衣服ヲ受領ス
労働者カ三月間精勤セハ遊興券一枚ヲ支
給セラレ

該券ヲ以テ料理店ニ於テ遊興スルモ普通勞
働者ニ殆ニト該券ヲ支給セラレハコトナシ
一般労働者ノ娛樂トシテ一週一回日曜日午
八時ヨリ十二時迄ヲ開催セラレ芝居券支
給セラレ之ヲ唯一ノ娛樂トセリ

雜報

六四

其他労働者ニシテ病氣ノ外一ヶ月間労働ニ從
事セタルモノハ賞與ノ意味ニテ過激派紙幣
三千圓ヲ支給セラレ該紙幣ハ店舗ナキヲ以テ
バンヲ購求スル外使用ノ途ナシ

而シテパネ一付ハ二十五圓トス

軍隊ノ兵器ハ完全ニシテ官給ノ一定ノ服装ヲ爲シ下
士以下靴ハ麻ニテ作りタル朝鮮草履ノ如キモノ
ヲ穿ケ大尉以下ハ日本軍隊ニ使用セルモノ同様
ノ編草靴ヲ佐官以上ハ長靴又ハ短靴ヲ穿用シテ
リ

三、農作物ニ就テ

農作物栽培收穫ハ全部圖激派ノ手ニ監督セ
ラレ若シ之ヲ竊取スルモノアランカ耕作者ノ責任
タルヲ以テ互ニ警戒シアリカ一耕作者カ竊取
セシコト察覺セハ乃テ射殺セラル又監督者ヲ
殺害シテ逃走セントスルモ各人労働先ノ証明
書無キ時ハ乃テ逮捕セラルヲ以テ到底目
的ヲ達スルコトヲ得ス之カ爲メ監督者ノ意ニ
隨ヒ誠意労働スルノ外ナシ

雜報

六五

四、施捨粥廠設置計畫

(長春警務署長報)

長春支那側ニテハ冬期間貧民救済ノ目的ヨリ
施捨粥廠ナルモノヲ設置セント警察廳長
及史商務會長其他数名ノ有志者起トナリ
数日前商務會ニ於テ之カ協議會ヲ開催セル
カ其議スル処ヲ聞クニ設置場所ヲ北門外貧
民教養廠内及西門外大佛寺ニテ所トシ其
救済ノ方法トシテハ一般慈善家ヨリ米食品ノ
寄附ヲ求メ以テ貧民ニ之ヲ分與スルモノニシテ一般
新聞紙ニ掲載スルト共ニ商務會員及警察

署員ヲシテ之カ寄附勸誘ニ當ラシムヘク近
ク其実施スルニ至ルヘシト云フ

五哈市ヲ形造ル諸勢力 (十月二十日奉天新聞記事)

八種ト宗教ノ色分ケ

哈爾濱方面ニ対シテハ近時吾カ國各方面カ注目シ
出テ来タ西伯利ノ関門對露貿易其他ノ策
源地乃至中継地トシテ其消長ヲ知ル事ハ最モ必
要ナルカ最近ノ調査ニ依リ其人口信仰等ヨリ
哈市ニ於ケル諸勢力ノ色分ケヲ見レハ

人口ハ三十五万乃至四十万ト稱セラレ支那ハ十八万露
雜報 六六

西亞人十四五万ヲ始メトシ其他十四五ヶ國人ノ集
合セル世界稀ニ見ル國際都市ナルカ其大要ヲ
示セバ左ノ通ラアル

(一) 旧露西亞人

旧露帝國臣民ハスラヴ民族ヲ中心トスル者ヲ十
四五万人アル

ハ大露西亞人旧露國帝政時代ノ東支鐵道官吏
學者軍人等ヲ之ニハ露西亞人ヲ合セテ旧帝政
臣民人口ノ過半数ヲ占メテ居ル羅馬正教ヲ信ス
ル猶太人主ニ商人ヲ哈市露人ノ商權ヲ握ッテ居ル

約五万モアロウカ猶不教

ハ小露西亜人露語ノウライネット稱スル者ヲ商

業文学士ヲ羅馬正教ヲ信ス

ニ、エストニア人極メテ小教

ホ、ユーカサス人主ニ旅館料理店ヲ経営シテ店ル

セメノフナドモ此ノ系統ヲアル少数

ヘダタン人一名タタリ人ヲ商人巡警馬夫ヲ

職業トス少数回々教

ト波蘭人主ニ商人學者少数コトリック教

チツイガー人英語、ジフシーテ藝人アル少数

雜報

六七

リフクヤート人蒙古施一種少数

ニ支那人

最近支那警察側ノ調査セル処尤ノ如クアル

ハ、哈爾濱

戸数 四三二 人口 三四七一六

口傳家甸

戸数 二、三、四七 人口 一、八、九八〇

ハ苦力人口 約 二〇、〇〇〇

合計 戸数 二六、六、六八 人口 一、八、三、六九六

(三) 其他

日、英、米、伊、独、佛、ケ、エ、ス、ト、株、トルキスタン、アル
メニア、アフガニスタン人等アル支那側、調査ニ
依リ日本ヲ除キタル外国商店四十三軒アルト云
フ

六、過激派ノパン

(十月二十七日右党スパート紙)

モスコよりノ通信ニ依リ各地食糧品ノ欠乏ニ
依リパンノ影スラ見サル地方多キカ最近某地
ニ於テ製造セラレツ、アル飢饉パンハ樹皮ニ小
量ノ麥粉ヲ混合セシモノニシテ一見粘土製パンノ
如ク而モ價額ハ布度五十箇ノ高價ナリト

雜報

六八

七、欧露對外貿易概況

(露字新聞)

欧露一帯永年戰禍ト飢饉ノタメ国民ハイヤカ
上ニ疲弊シ尽シ産業ハ興ラズ生産力カラス内ニ
求ムヘキ何物ヲモ有セス此ノ依推移スルニ於テハ
露國ハ遂ニ經濟上ノ破滅ヲ来シ遂ニ收拾道
ナキニ至ルヘキハ明カニシテ此ノ救済策トシテ国外
ニ向テ物資ヲ求メ交易ヲ望ムハ當然ノ結果ト
云フヘシ然レトモ國內物資ノ欠乏ト貨幣ノ不統
一輸出港ノ荒廢ハ時トシテ政府ノ不誠意ヲ
咎メラレ通商ノ困難ヲ欠キタル事一再ナラス一

時勞農政府、對外貿易力利權讓與ヲ看板ニ
諸外國ヲ釣リ寄セタリト、風説高ク英國丁
林先ツ通商實施ヲ延期ニ佛國モ保留ノ形式
ヲ固執シ米國又曖昧ノ態度ヲ示シ過激派政府
ハ一時焦慮一方ナラサリニカ飢饉ノ慘状ハ各國
ノ同情ヲ喚起シ再ニ非公式通商ノ開始ヲ見ル至
レリ先ツ對露通商ノ公式先鞭ヲソケタルモ、諾
威アリ英米、独佛、瑞西、波蘭、エストニア等々々
物資ノ交易ヲ行ヒツ、アリ

英藏相ホーシ氏、對露通商ニ関スル陳述書中
雜報

六九

ニス「英露通商ノ公式再開ハ困難ナランモ去ル
七月露國ニ輸入セル物資總量九、〇〇〇噸ニシテ
昨年當期ニ比シ約四千噸ノ増加ナリト云ヘリ
尚英米、独本年上半期ニ於ケル改露成績ヲ舉
グレハ

英國 五八、〇〇〇噸 独 五、三〇〇噸
米國 三、〇〇〇噸

右ノ如ク稍々殷賑ノ度ヲ示シ来リタルハ明カナリ
今茲ニ各紙ヲ通シテ勞農露國ノ對外貿易ニ
関スル數字ノ実績ヲ窺フニ、

(二) 本年自一月至五月上半期輸入額

一月 七三六、七三三布度 二月 一六二七、三三三布度

三月 六二六、八四〇 四月 二一三、八三三

五月 五四七、五四九 (九、二七、哈爾濱)

(三) 二月三於ル輸入貨物、細別

輸出先 輸入額 (單位布度)

米 國 一七七六、〇〇〇布度

佛 國 五六一九

英 國 一三、〇四七

独 乙 二一七、二四〇

雜 報

瑞 西 一三〇、〇一六

波 蘭 七五、二二九

エ ス ト ニ ヤ 一〇五、九六三

極東共和國經由 二四、八九四

(八、五、三、一ル)

(四) 航海開始以來十月十三日至ル「ペトログラード」

港入港外国汽船数

二〇隻 内一七九隻ハ十月一日迄ニ入港セシモノニ

シテ英船ノ九ニ隻首位ニアリ

(五) 同期同港輸入貨物總量

一五、五四〇、〇〇〇布度

内食糧品 五、五四〇、〇〇〇布度

農具類 四〇〇、〇〇〇布度

(六) 同港米國汽船入港状況 (八月以降)

船名	積載品目	数量	摘要
米國汽船ケル号	小麦粉	一〇〇、〇〇〇噸	入港
オリニビヤ号	豚肉罐詰其他	一〇〇噸	予定
乾燥野菜		四三〇	
オリント号	小麦粉	六〇、〇〇〇	
油		六〇、〇〇〇	

フエマールン 各鮮塩漬 一〇〇、〇〇〇乃至

マルカレツ 七〇〇

(七) 初航ヨリ十月一日至ル間ニ於ケル露国對外輸出

状況 (八一七、ルースキーゴース)

品目	数量
木材	七四〇、〇〇〇布度
亜麻	五〇、〇〇〇
石綿	一六〇、〇〇〇
其他毛皮建築材料若干	

八、莫斯科ノ慘狀 (一〇、二五、中々ザリヤ)

(一) モスコウ市ハ飢饉ト虎疫ノ襲来ニ會ニ殆
ント全滅ノ姿ナリモスコウ四十四ノ寺院ハ死
体ヲ以テ埋メリ官衙ハ戸ヲ閉サシ死体持入り
ヲ拒ミ市街ハ勿論寺院公園ハ死骸疊々
ル有様ナリト

(二) 北部亞米利加ニテ八十歳乃至十六歳ノ少年
自殺數激增シ来リ千九百二十年ノ件數三百
二十五件ナリト自殺方法ハ毒藥乃至短銃ヲ
使用スルモノ最モ多シ

雜報

七二

(三) 獨逸傳染病統計

一九一五年	一〇、五六〇名
一九一九年	四六〇〇〇名
一九二一年 (八月迄)	五九、五三〇名

九、歐露ノ救済 (一〇、二九、赤色ノオウスケジーズニ)

(一) 國際經濟委員會ハ飢饉地ノ野菜漬物用
トシテ約六十七万五千布度ノ塩ヲ送レリ

(二) テフリス地方ニテハ中産階級者ノ齋物ヲ集メ
飢饉地ニ送ル事ニ決定猶太人農夫ハ飢饉

八、莫斯科ノ慘状 (一〇、二五、中々ザリヤ)

(一)モスコフ市ハ飢饉ト虎疫ノ襲来ニ會シ強
ント全滅ノ姿ナリモスコフ四十四ノ寺院ハ死
体ヲ以テ埋メリ官衙ハ戸ヲ閉サン死体持入リ
ヲ拒ミ市街ハ勿論寺院公園ハ死骸疊ニタ
ル有様ナリト

(二)北部亞米利加ニテ八十歳乃至十六歳ノ少年
自殺數激增シ来リ千九百二十年ノ件數三百
二十五件ナリト自殺方法ハ毒藥乃至短銃ヲ
使用スルモノ最モ多シ

雜報

七二

(三)獨逸傳染病統計

一九一五年	一〇、五六〇名
一九一九年	四六〇〇〇名
一九二一年 (八月迄)	五九、五三〇名

九、欧露ノ救済 (一〇、二九、赤色ノオウスケジーズニ)

(一)國際經濟委員會ハ飢饉地ノ野菜漬物用
トシテ約六十七万五千布度ノ塩ヲ送レリ

(二)「テフリス」地方ニテハ中産階級者ノ瘠物ヲ集メ
飢饉地ニ送ル事ニ決定猶太人農民ハ飢饉

縣名		一九二〇年人口一万三千人			一九二三年人口一万三千人		
		出生	死亡	殺害	出生	死亡	殺害
ノウゴロトスカヤ	二四〇	二五三	一三	四二八	三九二	一三六	
ベチクグラート市	二二三	八九九	六七二	一	一	一	
スモレンスカヤ	二九七	三三四	三七	四五六	二八三	一七三	
トウエルスカヤ	二六一	二七〇	九	三九八	二八四	二四	
モスコーフスカヤ	二七五	四〇八	一三三	四〇〇	二九六	一〇四	
モスコー市	二一九	四六二	二四三	一	一	一	
ゴストロムスカヤ	三三二	四九三	一六四	四五四	三〇九	一四五	
ニイニエツロースカヤ	二四九	三三八	八九	四六〇	三二三	一三七	
ビヤトスカヤ	一六二	二四一	七九	四七九	三四八	一三一	

ペンゼンスカヤ	二八〇	四〇八	一三八	五二六	三四二	一七六
リヤサンスカヤ	二五四	二七二	一八	四〇七	二二六	一八一
オルロフスカヤ	二四二	三六四	四三三	四三八	二七〇	一六三

二、蒙古王公會議ノ真相

醒時報 十月四日

車臣汗那得那林 卓盟副長札薩克軍力
熱河ニ招集セル王公會議ハ討論八九日ノ久
シキニ亘レルモ何等重要ナル議案ノ処理ヲ
完成セス其ノ經過状況ヲ聞クニ各王公ハ徒
ラニ各盟副長及各旗蒙王辦事員ノ改選

雜報

七四

及外蒙防軍擴張問題ニ関シテ爭執ヲ事
トシ居ルモノニシテ蒙古ノ政治改革外蒙ヲシテ
中央ニ帰順セシムル手段如何等ノ重要案
ニ至ラハ何等ノ提案タニ出テサル状態ニアリト
スフ於是該會議ニ中央ヨリ派遣サレ居リン
代表モ各王公ノ帰趨一ヲラサルヲ見テ愛想ヲ
尽カシ遂ニ引上テテ上京シ一応覆命ニ及ビシト

三、大車輪ノ張作霖 (泰東日報十一月五日)

三十節 (十月十日國慶記念日ヲ双十節ト云フ本年ハ十年

十月十日ナルヲ以テ特ニ三十節ヲ補込後張使ハ殆ント一日トシテ會議ヲ召集セサル日ナシ最近ニ至リテ重要問題相踵イテ起リ三省三区ノ主要人物ヲ使署ニ會シテ連日悞議ヲ重ネツ、アリ所議要務ニ至ッテハ二十余項ヲ下ラサルカ茲ニ所聞ノ一端ヲ纏メテ記セハ左ノ如シ

(一)六省区ハ外過激派ノ患アリ内匪徒ノ横行アリ地面多故防務頗ル吃緊ナリトス即チ聯防ノ辦理法戒嚴施行法各路軍隊ノ分配法軍火軍需ノ融通計画

雜報

七五

(二)蒙古改省問題、各王侯、全部同意ヲ得政府承認セシ所ナルヲ以テ各王公、聯絡ニ着手スルコト蒙臣、奔走策内治、改良策蒙古軍ノ処置清御施行籌備等

(三)東三省巡閱副使、新設蒙疆經略副使、新設吉黑剿匪總司令蒙匪護軍使蒙匪各路鎮守使等、新設及三省督軍、更迭並奉天師旅長升調等問題

(四)三省軍制、分歧ニ就テハ以前、計畫ヲ全部改メテ師團ニ編制ス而テ奉天ニ八師吉林ニ五師

黒龍江ニ四師一旅ヲ置ク右ニ至急着手スル
コト師団改編後ノ軍費軍糧等ニ関スル件
(五)東三省兵工廠及東三省航空所ノ擴張及之ノ
經費三省分担ノ件今回決セラレシ所左ノ如シ
奉天十分、五、吉林十分、三、黒龍江十分、二、經
費ノ多少ヲ論セス此ノ割合ニ依ル
(六)奉天、吉、黒、察、綏、熱六省ニ憲兵總司令部ノ設
置察、綏、熱三区憲兵編制及各路司令部
ノ設立並各路憲兵分駐計畫
(七)蒙古貨幣制度ノ不統一ハ商民ヲ苦シメヤカラ
雜報

七六

他人ノタメニ經濟的勢力ヲ奪ハルハ、恐レアレバ
各省ヨリ出資セラレ蒙区銀行ナルモノヲ設クル事
本件ハ全体ノ賛成アリシカハ本月ヨリ直クニ其ノ
組織ニ着手ス可シ、尚ホ本件ハ各王公ノ同
意ヲ經テ聯絡アリ成立ハ意外ニ早カル可シ
(八)孫文北進シテ形勢日ニ迫ルモ中央ハ策ヲ施
スヘキヲ知ラス屢々意見ヲ求メ来リシカ本省
ノ計畫トシテハ左ノ如シ

本省ハ三師団ヲ編成出勤セシム首腦トシテハ
二十七師、第二、第四、第七旅ノ長ヲ以テシ近ク奉天

ニ集メテ出勤及編制計画ヲ議ス可シ

(九)三省ニ軍民分治ヲ実行スル件ニ就テハ數回提議アリシモ省長人物ノ望ニ難キ爲延遷今日ニ至レリ

目下政府ニテ又自治計画ヲ進メツ、アル際ナレハ軍民ノ權限ノ分立及分治実行ヲ急カサル可カラズ奉天省長トシテハ王永江談國桓ニ氏中ヨリ撰任スヘク吉黑ニ省ハ孫吳兩督軍ヲシテ物色セシムヘシ

(十)間房日支衝突交渉応付策省城馬車

雜報

七七

鐵道回收交渉金建問題善後交渉等

三手紙一通ニ驚ク勿レ三千留(十月五日サリヤ)

本社社長ノ手紙ハ勞農露國カラ一通ノ手紙カ届イタ封筒ニハ驚ク勿レ三千留ノ切手カ貼ツテアル奔信人ハ手紙中ニ自分ハ一月三千留足ラスヲ貰フ勞働者ダト書イテアル

封筒ヤ便箋ノ代ヲ加ヘルナラハ勞農露國ノ國民ハ一通ノ手紙ヲ出ス爲ニ汗水流シテ一月ノ勞働ヲササネハナラヌ理テアル

一、勞農露國過激派政府ニテ制定セル暗號
(關東憲兵隊報)

勞農露國過激派政府ニテ制定各地派
遣員ノ連絡共通シアル暗號ハ一號ヨリ七十
五号迄アリテ彼等ハ該暗號ヲ利用シテ
各地ノ連絡ヲ保持シツ、アリ其ノ一号及二号
左記ノ通り三号以下ノ暗號ニ付テハ内查
中。

雜報

七八

第一號

1	a	7	3k	13	7c	19	c	25	y	31	t
2	8	8	3	14	4c	20		26	4	32	y
3	3	9	4c	15	7c	21		27	4	33	4c
4	4	10	4c	16	0	22	4	28	4	34	2c
5	8	11	4c	17	12	23		29	4		
6	2	12	k	18	p	24	c	30	6		

第二號

1	a	6	c	11	d	16	p	21	x	27	h0
2	8	7	3k	12	4c	17	c	22	4	28	2c
3	3	8	3	13	4	18	m	23	4		
4	4	9	4	14	0	19	4	24	4		
5	8	10	k	15	2c	20	4	25	4		

報告及通報先
拓殖局長官
外務次官
朝鮮警務局長
青島民政長官
長春、鉄嶺、遼陽、牛莊、安東各領事
關東軍參謀長
滿鉄社長
各警務署長
在京事務総長
警保局長
北京公使
青島民政長官
長春、鉄嶺、遼陽、牛莊、安東各領事
關東軍參謀長
關東憲兵隊長
在上海木下内務事務官
全支署長